

競合品目・競合企業リスト

令和元年10月2日

販売名	クラリチンEX クラリチンEX OD錠	製造販売元	バイエル薬品株式会社
-----	------------------------	-------	------------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	アレジオン20	エスエス製薬株式会社
競合品目2	アレグラFX	サノフィ株式会社
競合品目3	ノスポール鼻炎錠FX	協和薬品工業株式会社

競合品目を選定した理由
一般用鼻炎治療内服薬直近1年（2018年9月～2019年8月）の販売金額上位3製品

競合品目・競合企業リスト

令和元年9月30日

販売名	イナビル吸入粉末剤20mg イナビル吸入懸濁用160mgセット	製造販売元	第一三共株式会社
-----	------------------------------------	-------	----------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	ゾフルーザ錠10mg ゾフルーザ錠20mg ゾフルーザ顆粒2%分包	塩野義製薬株式会社
競合品目2	タミフルカプセル75 タミフルドライシロップ3%	中外製薬株式会社
競合品目3	リレンザ	グラクソ・スミスクライン株式会社

競合品目を選定した理由
2019年9月現在上市されている抗インフルエンザウイルス薬から3剤を選定した。

競合品目・競合企業リスト

令和1年10月4日

販売名	タミフルカプセル75 タミフルドライシロップ 3%/オセルタミビルリン 酸塩製剤	製造販売元	中外製薬株式会社
-----	---	-------	----------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	イナビル吸入粉末剤20mg/ラニナミビルオク タン酸エステル水和物	第一三共株式会社
競合品目2	リレンザ/ザナミビル水和物ドライパウダ ーインヘラー	グラクソスミスクライン株 式会社
競合品目3	ゾフルーザ錠10mg、ゾフルーザ錠20mg/バロ キサビルマルボキシル錠	塩野義製薬株式会社

競合品目を選定した理由
現在、本邦においてインフルエンザウイルス感染症の治療又は予防に使用されている注射剤以外のノイラミニダーゼ阻害薬2剤および2018年3月に発売されたゾフルーザ錠の3剤を選択した。

競合品目・競合企業リスト

令和元年10月3日

販売名	ゾフルーザ錠10mg、ゾフルーザ錠20mg、ゾフルーザ顆粒2%分包 ラピアクタ点滴静注液バッグ300mg、ラピアクタ点滴静注液バイアル150mg	製造販売元	塩野義製薬株式会社
-----	---	-------	-----------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	イナビル吸入粉末剤	第一三共株式会社
競合品目2	タミフルカプセル・ドライシロップ	中外製薬株式会社
競合品目3	オセルタミビルカプセル・DS「サワイ」	沢井製薬株式会社

競合品目を選定した理由
現在国内で販売されているノイラミニダーゼ阻害薬を選定した。

競合品目・競合企業リスト

令和元年10月1日

販売名	リレンザ（ザナミビル水和物）	製造販売元	グラクソ・スミスクライン株式会社
-----	----------------	-------	------------------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	イナビル吸入粉末剤 20mg / イナビル吸入懸濁用 160 mgセット(ラニナミビルオクタン酸エステル水和物)	第一三共株式会社
競合品目2	タミフルカプセル 75 / タミフルドライシロップ 3% (オセルタミビルリン酸塩)	中外製薬株式会社
競合品目3	ラピアクタ点滴静注液バッグ 300mg / ラピアクタ点滴静注液バイアル 150mg (ペラミビル水和物)	塩野義製薬株式会社

競合品目を選定した理由
抗インフルエンザ薬でノイラミニダーゼ阻害薬に分類される薬剤を選定した。

競合品目・競合企業リスト

令和元年10月1日

販売名	ウロナーゼ静注用6万単位	製造販売元	持田製薬株式会社
-----	--------------	-------	----------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	グルトパ注600万・1200万・2400万	田辺三菱製薬（株）
競合品目2	アクチバシン注600万・1200万・2400万	協和キリン（株）
競合品目3	カタクロット注射液20mg・40mg 注射用カタクロット20mg・40mg	丸石製薬（株）

競合品目を選定した理由
ウロナーゼ静注用6万単位は、効能・効果のひとつとして「脳血栓症」を有しており、類似した効能・効果を有する薬剤を競合品目として売上高（2018年4月～2019年3月）の順から列挙した。 【各薬剤の効能・効果（本剤の効能・効果と類似したもの）】 グルトパ注：虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善（発症後4.5時間以内） アクチバシン注：虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善（発症後4.5時間以内） カタクロット：脳血栓症（急性期）に伴う運動障害の改善